

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
ハリウッド美容専門学校	昭和55年5月1日	山中ジェニー	〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 (電話) 03-3408-5020																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人メイ・ウシヤマ学園	昭和59年3月16日	山中祥弘	〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 (電話) 03-3408-5020																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
衛生	美容専門課程	高度専門科	-	平成19年文部科学省告示第27号																							
学科の目的	美容師の資格を取得すると共に、美容師として必要な技術・マナーを身につける。																										
認定年月日	平成 26 年 3 月 31 日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
4	昼間	114	20	0	94	0	0																				
単位																											
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
240人	52人	6人	11人	8人	19人																						
学期制度	■前期:4月1日~9月30日 ■後期:10月1日~3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学科については試験、実習はその成績による。70点以上合格																							
長期休み	■夏季:8月1日~8月31日 ■冬季:12月20日~1月5日 ■学年末:3月31日~4月13日		卒業・進級条件	学科・実技共に合格していること。出席日数が所定の日数以上のこと。																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人・保護者との密接な連携		課外活動	■課外活動の種類 老人ホームの訪問、清掃																							
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) 美容業、化粧品会社		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)																							
	■就職指導内容 就職セミナー、面接トレーニング等			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師免許</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>SBS 1級</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>ソフトモクステーションアドバイザー</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>パーマ 3級</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師免許	③	5人	5人	SBS 1級	③	5人	5人	ソフトモクステーションアドバイザー	③	5人	5人	パーマ 3級	③	5人	5人
	資格・検定名	種		受験者数	合格者数																						
	美容師免許	③		5人	5人																						
SBS 1級	③	5人	5人																								
ソフトモクステーションアドバイザー	③	5人	5人																								
パーマ 3級	③	5人	5人																								
■卒業者数 8人		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するが記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																									
■就職希望者数 7人		■自由記述欄																									
■就職者数 7人																											
■就職率 : 100%																											
■卒業者に占める就職者の割合 : 87.5%																											
■その他 1人																											
(平成 28 年度卒業生に関する平成29年5月1日 時点の情報)																											
中途退学の現状	■中途退学者 15名		■中退率 24%																								
	平成28年4月1日時点において、在学者62名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者47名(平成29年3月31日卒業生を含む)																										
	■中途退学の主な理由 進路変更、家庭の事情、経済的理由																										
■中退防止・中退者支援のための取組																											
学生相談室を中心に全教職員がそれぞれの学生の事情に対応している。(担任・学年主任等により個別面談を実施)																											
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有																										
	入学金・学費・寮費減免等 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有																										
当該学科のホームページURL	URL: http://hollywood.ac.jp																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」としては、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(※1)上記のほか「就職者数(関連分野)」は「学校基本調査」における「関連分野(就職)者数」を記載し、また「その他」の欄に「関連分野へのアルバイト者数」を

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。))との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針			
現場を重視し、美容業の実践に即した教育を行うことを基本とする。			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け			
教育課程編成委員会は、本校の教育課程の編成及び教育内容及び教育方法等の担当より教育課程の編成等について現状と今後の計画の報告を受け、企業等との連携体制の下、実践的かつ専門的な立場から高度職業教育に求められる教育について検討する。担当は教育編成委員会で出された意見を踏まえて、教育課程や教育方法の改善・工夫に取り組む。			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿			
平成29年10月13日現在			
名前	所属	任期	種別
佐藤友彦	AXIS社長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
長尾哲治	(有)化粧品店の店長 兼 兼務取締役 (株)エヌシーイ 代表取締役社長(有)化粧品の店長 兼 兼務取締役	//	③
福島吉功	東京美容家協会会長	//	①
渡邊雅美	サロン・ド・ユーウ代表取締役	//	③
山中ジェニー	校長	//	
山中祥弘	理事長	//	
伊東昭彦	事務長	//	
川島綱太郎	国際交流センター長	//	
釣谷恵美	教務	//	
※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。) ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期			
(開催日時)毎年度7月及び11月を予定			
第1回 平成28年7月28日 13:00～14:00			
第2回 平成29年2月16日 13:00～14:00			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況			
○よりきめ細かい指導をとる指摘に対し、教員が、学生の理解度、技術の修得状況により一層注力する。下級生が、上級生に疑問点を質問出来る環境を整備し、教員と共に指導にあたっている。			
○より実践的な教育を行うようにとの指摘に対し、ウィッグによる実習から、学生同士による人体モデル実習を多くする。同級生同士だけでなく、下級生の協力も得て、より実践的な実習を行っている。			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針			
就職先である美容室・化粧品会社等の実務者から、専門職としての技術指導を受ける。			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容			
連携企業から講師として、技術者、現場責任者、経営者等を、派遣していただき、連携企業で行われている技術・接客については主に実習、経営等については演習を中心に授業を行っている。本校の教員と、連携企業と一緒に、成績等の評価を行っている。			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
科目名	科目概要	連携企業等	
美容実習	メイクアップの基礎及びファッションメイクを学ぶ	(株)ウィロー	
美容実習	ヘアスタイルの基礎を学ぶ	ハリウッドビューティサプライ(株)	
美容文化論	カラーについての基礎知識を学ぶ	(株)サミュエル	
選択教養科目	まとめ髪の基礎を学ぶ	(有)西洋髪結	
美容実習	サロンワーク全般を学ぶ	(株)田谷	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員としてふさわしい人格・教養・指導力・技術の向上を培わせるために、時代に即応する教職員としての資質を備えられるよう、学内・学外研修を行う。

(2) 研修等の実績

国家試験委員による、講習を実施し、国家試験課題に対する理解を深め、課題の指導方法の勉強会を実施した。これにより、国家試験合格率100%を実現する事が出来た。(サロン・ド・ユーウ社と国家試験課題に対する採点項目の解説・再確認。美容技術向上トレーニング方法の模索)

(3) 研修等の計画

①外部研修を通じ、教員の教科資格の拡充を図る。
8月「衛生管理」3名
9月「美容保健」3名

②わかりやすい授業運営の為に、外部研修に参加し、スキルアップを図る。
8月PC研修
8月コーチング研修
11月プレゼンテーション研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校と密接に関係する各方面への理解促進、またそれらとの連携により、教育活動・学校運営の改善を目指す。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	同左
(2)学校運営	〃
(3)教育活動	〃
(4)学修成果	〃
(5)学生支援	〃
(6)教育環境	〃
(7)学生の受入れ募集	〃
(8)財務	〃
(9)法令等の遵守	〃
(10)社会貢献・地域貢献	〃
(11)国際交流	〃

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

現場(就職先)のニーズによる、実践的な教育の推進→校内の模擬店舗での実習から、提携美容室における実店舗実習の時間を増やした。

高齢者世代の増加に対して、学校としての取組について→高齢者世代の増加は、美容界で対応策が求められている。この為、学生に対し、高齢者世代の増加の現状を説明している。また、介護の初任者研修資格が取得できる選択科目を復活させることとし

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年10月13日現在

名前	所属	任期	種別
川口昭彦	専門職高等教育質保証機構代表理事	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	有識者
酒井正子	東京都港区立筈小学校同窓会副会長	〃	地域
富田正次	元都立六本木高校長、都留文科大学講師	〃	有識者
長尾哲治	(有)化粧品店の店長 常務取締役 (株)エスシーアイ 代表取締役社長(有)化粧品店の店長 常務取締役	〃	実務者
福島吉功	東京美容家集団会長	〃	業界団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・12月)

URL:<http://www.hollywood.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

美容実習等の指導依頼を前提に、当校の教育理念から実践的教科内容に至るまで、全体を情報提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	同左
(2)各学科等の教育	〃
(3)教職員	〃
(4)キャリア教育・実践的職業教育	〃
(5)様々な教育活動・教育環境	〃
(6)学生の生活支援	〃
(7)学生納付金・修学支援	〃
(8)学校の財務	〃
(9)学校評価	〃
(10)国際連携の状況	〃
(11)その他	〃

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<http://www.hollywood.ac.jp>

授業科目等の概要

(美容専門課程高度専門科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			関係法規・制度	美容師の資格について、美容師免許の取得について、美容室の設置基準など美容師として、美容室経営者として必要な法令を学ぶ。	1	1	○			○		○	△		
○			衛生管理	美容師が使用する器具の消毒や、感染症の予防や消毒について学ぶ。	1・2	3	○			○		○	△		
○			美容保健	人体組織、皮膚や毛髪など美容技術の基礎となる、人体構造、生理機能について科学的知識を学ぶ。	1・2	4	○			○		○	△		
○			美容の物理・化学	美容器具に関係する、電気・熱・光などの物理、化粧品働き、成分などを科学的に学ぶ。	1・2	3	○			○			○		
○			美容運営管理	お客様を心からもてなすホスピタリティー、接客、マナーとしてのレセプションナリティーを学ぶ。	1	2	○			○		○			
○			美容文化論	ヘア・メイクとファッションの関係等、歴史的背景を年代別に研究し、合わせて色彩、造形の基本を学ぶ。	1	3	○	△		○		○		○	
○			美容技術理論	ヘア・メイク・エステ等の美容技術の理論を科学的に学び、同時に美容技法、テクニックを合理的に把握する。	1・2	4	○			○		○			
○			美容実習	ヘア（カット、ワインディング、オールウェーブ、シャンプーヘアカラー、セッティング等）メイクアップ、ネイル、エステ、着付け等、美容技術を学ぶ。	1・2	27				○	○	○		○	
	○		選択教養科目	美容総合芸術、ヘア、メイク、ネイル、エステ、スタイリスト、ファッションコーディネート等の実習およびインターンシップより選択する。	1～4	67	△			○	○	○	△	○	
合計			9 科目		単位時間(114 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
授業出席時間、学科・技術評価、授業料支払、提出物等で認定	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	26週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。